

**研究科・学部 教授会議事要旨**  
〔令和6年4月18日（木）15:06~16:34〕

◇令和6年3月6日（水）及び3月21日（木）開催の研究科・学部教授会議事録（案）の確認の結果、承認された。

**【議 事】**

**I. 報告事項**

**1. 委員会報告について**

研究科長、各議長並びに各委員長から、報告資料1に基づき、報告があった。

＜研究科内委員会・会議＞

1-1. 拡大執行部連絡会 (R6. 4. 3)

1-3. 研究推進会議

1-4. 学務会議 (R6. 4. 12)

1-5. 予算・施設会議

1-6. 情報・広報会議 (R6. 3. 27)

1-7. 臨床研究倫理審査委員会 (R6. 2. 22)

1-8. 薬学評価会議 (R6. 4. 3)

薬学評価会議議長から、令和6年4月3日に開催された薬学教育評価会議の内容について、議事毎の説明とともに報告があった。

1-9. 国際交流委員会 (R6. 4. 11)

＜大学内委員会等＞

1-11. 教育研究評議会 (R6. 4. 17)

1-12. 部局長会議 (R6. 4. 17)

1-15. 医歯薬生命系戦略会議 (R6. 4. 12)

生命医科学の社会実装プログラム運営委員会 (R6. 4. 12)

**2. 薬剤師国家試験の結果について**

学務会議議長から、報告資料2に基づき報告があった。

**3. 数理・データサイエンス・AI教育プログラムについて**

学務会議議長から、報告資料3に基づき報告があった。

**4. 長期課題研究1のシラバスについて**

学務会議議長から、報告資料4に基づき報告があった。

**5. 兼任教員について**

研究科長から、報告資料5に基づき報告があった。

**6. 兼業について**

研究科長から、報告資料6に基づき、報告があった。

7. 各種委員会委員の選出について  
研究科長から、報告資料7に基づき、報告があった。
8. 令和6年度教授会等スケジュールについて  
研究科長から、報告資料8に基づき、報告があった。
9. 旧薬学4号館の新名称について  
研究科長から、報告資料9に基づき、報告があった。
10. 月別電力使用量について  
研究科長から、報告資料10に基づき、報告があった。
11. その他
  - (1) 危険物倉庫等の鍵の貸出ルールの見直しについて  
低温小委員会委員長から、危険物倉庫等の鍵の貸出ルールの見直しについて、報告があった。
  - (2) 2024年度創薬サイエンス特別講義について  
研究科長及び副研究科長から、報告資料11に基づき、今年度から学部の学生に対しても開講する旨報告があった。
  - (3) その他
    - ・薬品製造化学分野教授から、所有の薬品について来年3月末までに所定の指定数量に削減する必要がある旨再度説明があり、また、OCCS上と実際所有している薬品が一致しているか一度棚卸して確認いただくとともに、有機系分野だけでなく、生物系分野においても削減いただくよう依頼があった。
    - ・遺伝子組換え実験安全委員会安全主任者から、昨年秋吹田キャンパスの部局においてヒアリハットの事案が発生した旨報告があった。また、管理体制の強化、教育訓練の徹底、実験排水の処理状況等を再点検して必要な措置を講じるように総長から部局長宛に通知があったので、実験責任者は改めて申請内容にかかる組換え実験の内容、その取り扱い等について従事者を含めた教育を徹底していただき、それぞれの分野で責任をもって行っていただくよう依頼があった。さらに、後日庶務係より通知があった際には、実験責任者は必ず通知内容を確認していただくよう併せて依頼があった。

## II 協議事項

1. 学生の異動について  
学務会議議長から、協議資料1に基づき説明があり、協議の結果、承認された。
2. 高分子化学分野の配属学生について  
学務会議議長から、協議資料2に基づき説明があり、協議の結果、承認された。

3. 令和6年度発表会等の日程について  
学務会議議長から、協議資料3に基づき説明があり、協議の結果、承認された。
4. 令和7年度入学者選抜学部決定事項について  
学務会議議長から、協議資料4に基づき説明があり、協議の結果、承認された。
5. 令和6年度ゲストスピーカーについて  
学務会議議長から、協議資料5-1及び5-2に基づき説明があり、協議の結果、承認された。
6. 令和6年度非常勤講師について  
学務会議議長から、協議資料6に基づき説明があり、協議の結果、承認された。
7. 薬学部薬学科卒業認定日について  
学務会議議長から、協議資料7に基づき説明があり、協議の結果、承認された。
8. 薬学科先進研究コースの奨学金に関する内規について  
学務会議議長から、協議資料8に基づき説明があり、協議の結果、承認された。
9. 3ポリシーの改訂について  
学務会議議長及び薬学評価会議副議長から、協議資料9に基づき説明があり、協議の結果、承認された。協議の概要は以下のとおり。
  - ・ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）：学習者が自らの学習状況を理解・整理しやすいよう、附番をする。
  - ・カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）：これまでの教授会及び学務会議での議論を踏まえて作成した「学修成果の評価方法（案）」について、ディプロマ・ポリシーに掲げる卒業までに身に付けるべき資質・能力（1～7）の観点から議論を行い、適切な科目（開講時期の異なる複数の科目）でルーブリック評価等を取り入れる。
10. 学修成果の評価の在り方について  
学務会議議長及び薬学評価会議副議長から、協議資料10に基づき説明があり、協議の結果、承認された。協議の概要は以下のとおり。
  - ・評価は開講時期の異なる複数の演習・実習系の科目で実施すべきであり、基礎実習2、臨床薬学2、事前学習2、長期課題研究で評価することとする。
  - ・評価は、ルーブリックを使用することとし、開講時期や当該時期での学習科目等を考慮したうえで、それぞれの科目の特性を踏まえて設定すべきである。
11. 留学生等関係パーティーの開催について  
国際交流委員会委員長から、協議資料11に基づき説明があり、協議の結果、毒性学分野を主担当、再生適応学分野を副担当とすることが承認された。

## 1 2. 教員の人事について

### (1) 医薬合成化学分野（合成）の准教授選考について

研究科長から、先ほどプレゼンテーションを行った候補者について投票を行うことの説明があり、投票の結果、承認された。

### (2) 神経薬理学分野（薬理）の准教授選考について

研究科長から、先ほどプレゼンテーションを行った候補者について投票を行うことの説明があり、投票の結果、承認された。

### (3) 教員人事（外部資金等新規雇用分）について

研究科長から、協議資料14-1及び14-2に基づき説明があり、協議の結果、承認された。

### (4) 定量生命物理化学（定生）の特任講師（常勤）選考委員会の設置について

研究科長から、協議資料15に基づき説明があり、協議の結果、承認された。

## 1 3. 令和6年度招へい教員等の受入れについて

研究科長から、協議資料16-1及び16-2に基づき説明があり、協議の結果、承認された。

## 1 4. 各種委員会委員の選出について

研究科長から、協議資料17に基づき説明があり、協議の結果、承認された。

## 1 5. マルホ大学院生等海外派遣について

情報・広報会議議長から、協議資料18に基づき説明があり、協議の結果、承認された。

## 1 6. 令和7年度概算要求（基盤的設備等）について

研究科長から、協議資料19に基づき説明があり、協議の結果、承認された。

## 1 7. その他

### (1) 第10回食品薬学シンポジウムについて

天然物創薬学分野教授から、協議資料20に基づき説明があり、協議の結果、本研究科共催とすることが承認された。